

会議結果（要旨）

会議名	平成30年度 第3回 余市町地域公共交通検討委員会
開催日時	平成30年12月27日（木）午後1時30分～午後2時50分
開催場所	余市町役場 301号会議室
出席者	委員：出席8名、欠席0名 他：オブザーバー2名
議題・諮問内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開 会 2. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> 1) 網形成計画策定に関する事業評価について 2) 網形成計画の素案について 3. その他 4. 閉 会
会議資料	別紙のとおり
会議結果	下記のとおり
出された意見等	<p>■協議事項</p> <p>○網形成計画策定に関する事業評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの取り組みや網形成計画策定に向けた方針について協議会において一次評価を行い、北海道運輸局に提出する。事務局作成の評価（案）について協議。 ※意見等特になし、原案を次回協議会の協議案件とする。 <p>○網形成計画の素案について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 公共交通の課題及び方向性 <ul style="list-style-type: none"> ※意見等特になし 2. 上位・関連計画 <ul style="list-style-type: none"> ※意見等特になし 3. 計画の基本的な方針 <ul style="list-style-type: none"> ※意見等特になし 4. 計画に位置付ける取組み及び実施主体 <ul style="list-style-type: none"> ※以下の意見あり ・JR余市駅におけるバス乗り継ぎを検討する際には、時間帯により自家用車による混雑があるので、自家用車の行先について調査を検討したほうがよい。 ・スクール便との一元化の検討については慎重に行うべき。

- ・高速道路開通による交通量の変化も視野に入れたほうがよい。
- ・観光タクシーのルート検討については行政主体でまとめたほうがよい。
- ・観光タクシーは余市駅の発着を考える場合、朝、夕の JR 余市駅前の自家用車の混雑を解消する必要がある。
- ・現状余市には障がい者用のタクシーがないが、乗務員や付き添いの関係から導入については事業者の対応が難しいものと思われる。
- ・障がい者用のタクシー、低床式バスの導入にあたっては、他自治体で行っているように、行政が購入して事業者に委託する方法もある。
- ・JR 余市駅をバス乗り継ぎの拠点とする場合には現状の駅前のスペースでは困難であり、再整備を検討する必要がある。
- ・免許の返納については、現状運転経歴証明書交付手数料の助成があるが、これ以外の対策も必要と思われる。

※札幌運輸支局中山専門官より以下の趣旨の助言あり

計画の設定期間に合わせる形で進捗を考えなければならないので、進捗という部分でも具体的に書けるものと書けないものを明確に分けたほうがよい。構想的なものも入れないと検討することにはならないが、入れるのであれば取り組みを進めるといことなので、先行してできなければ計画化の中で後ろに置いておく方法もある。計画はこの期間だけではなく、その後も見直したうえで生きているので連続性も意識しながら施策の進路を書いていかなければならない。計画に記載したら必ず実施しなければいけないということではなく、計画として進める事を項目としてまとめるのだと認識していただき、その中で実施期間を定める。駅前広場の話が再三出ているが、記載しないと議論ができない。議論をしたとしても設定期間の中でどこまでできるのかわからないので、場合によっては検討の中身を複数に分けるという方法もある。今回はここまでについて検討するということや今回の計画の中では着手できる状況ではないなどの書き方もある。利用促進については利用者、住民にきちんと協力してもらう事を入れたほうがよい。全てを行政と事業者のみで実現しても利用者がついてこなければ達成できない。利用する側として乗っていただくこと自体が協力になるといった意識を持ってもらう為に、実施主体に住民等を入れたほうがよい。

※素案については継続協議とし、今回出た意見を踏まえ、未整理の部分を含め精査していく。

■その他

○事務局より次回開催について

※意見等特になし

以上により閉会